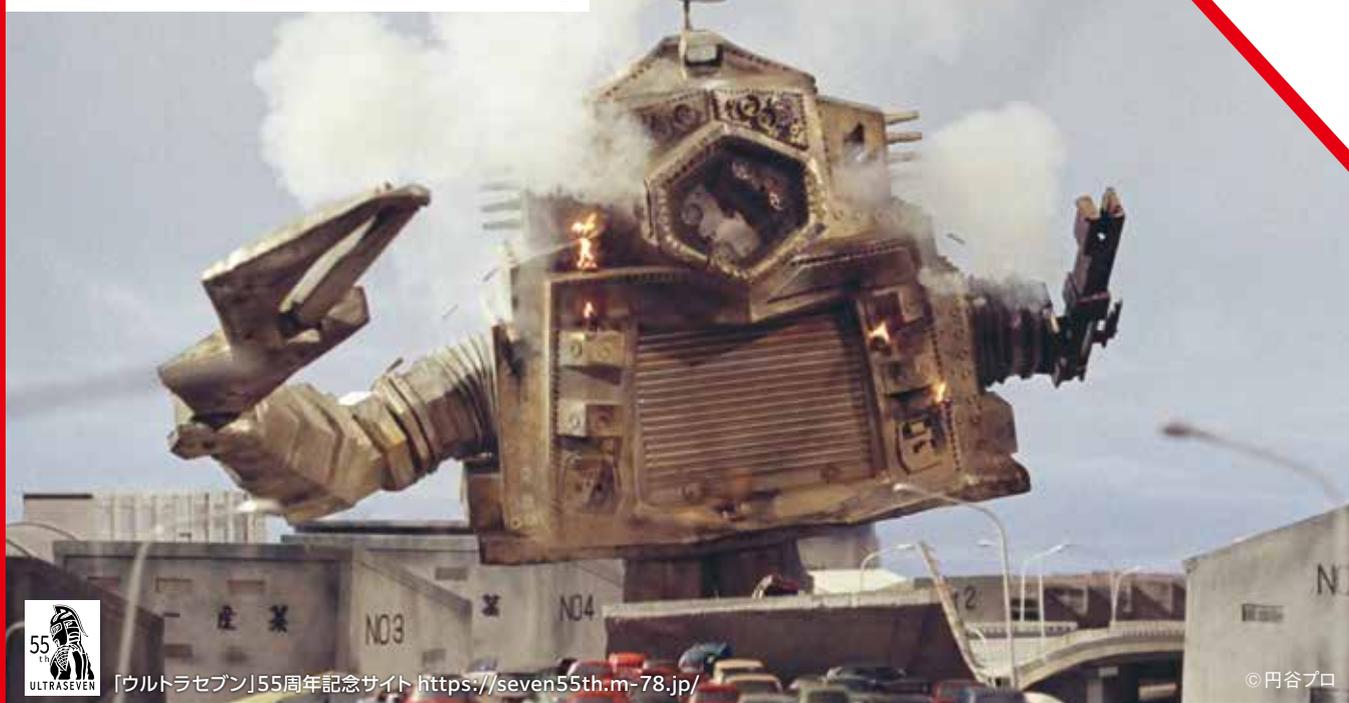


ウルトラ建設探訪記 vol.01

『ウルトラセブン』に見る高度成長期の構造物

新企画『ウルトラ建設探訪記』が今号よりスタートします。この連載では、1967年に第1回が放送され55周年を迎えた『ウルトラセブン』とコラボレーション。作中で描かれている「未来」、そして進歩しつつあったテクノロジーとの「共生」を劇中に登場する構造物、当時の時代背景に着目しながら「建設」の視点から解説します。誌面と連動した動画では、モロボシ・ダン役の森次晃嗣さんをナビゲーターにお迎えし、構造物の現在の姿や街並みの変遷などをご紹介します。ウルトラセブンの世界観を体感しながら、構造物への理解を深めていただくコンテンツです。55年前に描かれた「未来」とその「現在」を動画でぜひご覧ください。

『ウルトラセブン』第38話「勇気ある戦い」



『ウルトラセブン』55周年記念サイト <https://seven55th.m-78.jp/>

©円谷プロ

あの時の未来

高速道路ができた東京

首都高速道路の着工は1959年。ほぼ時を同じくして東京が1964年のオリンピック開催地に決定したため、羽田空港と都心をつなぐ1号羽田線はオリンピック関連道路の一部として優先的に整備が進められた。折しも、1955年に発表された通商産業省（当時）の「国民車構想」が後押しとなって国産自家用車の普及が加速した時期でもあり、交通渋滞が社会問題化していた。



写真提供：首都高速道路株式会社

セブンの見た街、共生の未来

『ウルトラセブン』第38話「勇気ある戦い」は、「母星の資源不足に悩む異星人が地球の鉄製品（＝自動車）を略奪するために襲来する」というストーリー。劇中、濃霧を発生させたロボットが、交通渋滞により動けなくなった車両を取り込むなど、自動車が爆発的に増えた時代背景を巧みに取り入れている。一方で、先進医療により心臓の病から快復する少年の姿を通じて技術の進歩も描かれており、テクノロジーと人間の日常が共生する未来を感じさせる内容ともなっている。

ロケ地の現在の姿や作品に映る構造物を追いかける巡礼散歩へGO!!
55年前の「未来」、そしてその「現在」を動画で紹介します。



動画のナビゲーターはモロボシ・ダン役の森次晃嗣さん。二次元コードからぜひご覧ください。



<https://www.youtube.com/@user-qj6md4nz9e>